

## 夏休みエコいえ作り体験ワークショップ

in 船坂 を開催しました！

住まいづくりコース



第 9 号

平成 27 年 8 月 8 日（土）、旧船坂小学校にて「夏休みエコいえ作り体験ワークショップ in 船坂」を開催し、暑い中合計 88 名の方にご参加いただきました。

当日は、平成 24 年度の市民ワークショップ「宮っ子エコいえワークショップ」の内容をまとめた「宮っ子エコいえBOOK」を基に、自然と共生した住まい「エコいえ」について学び、学んだことを生かしてエコいえの模型作り、および船坂地区に残る茅葺屋根の古民家改修現場の見学を行いました。

講師には、人・まち・住まい研究所の浅見雅之先生、一級建築士事務所 YURIDESIGN の前田由利先生、中北幸環境・建築研究所の中北幸先生をお招きし、「エコいえ」に関するレクチャー、「エコいえ」の模型づくりのアドバイスをしていただきました。また、古民家改修現場の見学の際には、武庫川女子大学の学生が中心となって古民家の再生を行っている「古民家族」の皆さんに、古民家についてわかりやすく説明していただきました。

## □1. 「エコいえ」について学ぶ

先生のお話(15分×3=45分)



はじめに浅見先生から、人が暑さ・寒さを感じる原因やエコいえで暑さを避けるコツについて、分かりやすくお話いただきました。

Q1. 「エコいえ」ってなに？

A. あまり電気やガスなどのエネルギーを使わずにくらす家のこと

Q2. 人が暑さ・寒さを感じる原因

A. 空気のおんど、空気にくまれる「しっけ」のりょう、放射熱、風のつよさ、着衣量、運動量

Q3. 「エコいえ」で暑さを避けるコツ

A. かべややねから熱が入ってこないようにする。まどから太陽の光がはいらないようにする。風や空気のながれをつくる。



浅見先生

次に中北先生から自然と友だちになることの大切さについてお話いただきました。



中北先生

「太陽からのエネルギーの流れ、天からふりそそぐ雨や風の流れ、土や植物、小動物など私たちの身の回りにある自然の営みに目を向けていき、それらに寄りそった住まい方をすることが大切です。」

実際、中北先生のお家では、雨水を使って屋上庭園で野菜を育てたりされているなどエコな住まい方を実践されています。

最後に、前田先生から草屋根の豊かな暮らしについて、設計された事例の写真とともにお話いただきました。

「草屋根は断熱材として大きな役割を果たしています。それは、植物の葉や茎から水分が放出される蒸散効果によって、夏であれば草屋根の表面温度は低く保たれ、エアコンは要りません。」

また、自邸では実際にハコベやコスモス、ユリやススキ等が自生しているほか、ナスやトウモロコシなどの野菜も栽培しています。季節によって、夏はスイカ、秋にはコスモスと草屋根の上の自然を四季折々楽しんでいきます。



前田先生

先生のレクチャーを聞いた後は、2グループに分かれ「エコいえ」作りと古民家の見学を行い、「エコいえ」を実際に体感していただきました。

## □2-1. 「エコいえ」を作る

工作(100分)



基本の家模型キットに、発泡スチロール、萱、すだれ、葉っぱなどの工夫材料を加えて、それぞれのエコいえに仕上げていただきました。



どんなエコいえができるのかな？

みんな真剣です！

講師の皆さんにもエコいえ（鉄人のいえ）を作成して頂きました！



中北先生の床下や屋根裏の風通しを良くした快適なエコいえ



前田先生の草屋根など緑をふんだんに使ったエコいえ（雨水タンクもついてます。）



浅見先生の発泡スチロールでひたすら断熱性能を高めたエコいえ

## □2-2. 古民家の見学

見学(50分)



船坂小学校から徒歩約5分のところにあります。

古民家改修現場では、「古民家族」の学生メンバーに「古民家が涼しい理由」や「古民家は、実は地震に強い構造になっている。」などについて楽しくわかりやすく説明していただきました。

よる説明  
古民家族の学生メンバーに



中に入ると「涼しい！」という声が上がりました。

天然芝と鉄板を太陽光に当て、どれだけ温度が異なるのか表面温度計で測ったり、実際に触れることで体感してもらいました。



裸足で鉄板に乗ろうとしたお子さんもいました。やけどするから気をつけて！

### □3. 「エコいえ」工夫ポイント発表

発表（35分）



個性豊かな46軒のエコいえが出来上がり、それぞれの工夫ポイントや感想を何人かの子供たちに発表してもらいました。

みんなの工夫した点

- 床に発泡スチロールの断熱材をしきました。
- 南側の大きな窓にひよけをつけて玄関にすだれをつけました。
- 屋根にソーラーパネルをつけて自家発電できるようにしました。
- 草屋根をつけて壁の一部を緑化しました。
- すだれをつけました。



参加者のみんなが作ったエコいえ大集合！



先生方より講評いただきました。

先生方から、それぞれ浅見賞（ひさしをつけたエコいえ）、前田賞（草屋根のエコいえ）、中北賞（床を上げて風の流れを意識したエコいえ）を選んでもらいました。

最後に、先生方から「エコな暮らしとは、暑さや寒さをがまんすることではなく、工夫次第で快適に暮らせるようにすること、自分なりのエコスタイルを考えて、エコかっこいい、エコかわいい暮らしを实践してほしい。」というお話をいただき、ワークショップは無事終了しました。

## 講師のプロフィール

### 浅見 雅之(あさみ まさゆき)

合同会社 人・まち・住まい研究所の代表社員。自然と共生した住まい(エコいえ)の観点で設計業務をする傍ら、摂南大学理工学部の講師やまちづくり専門家として多方面で活躍。「宮っ子のいえアドバイザー」として西宮市内でエコいえの出前講座にも対応。

### 前田 由利(まえだ ゆり)

一級建築士事務所 YURIDESIGN 代表。草屋根の建築家として数多くの自然と共生した住まい(エコいえ)を手がけている。また「住宅・環境・屋根緑化」をテーマにした講演・執筆活動など、多方面で活躍。「宮っ子のいえアドバイザー」として西宮市内でエコいえの出前講座にも対応。

### 中北 幸(なかきた こう)

「中北幸環境・建築事務所」代表。地球環境及び人間の健康に配慮した住まいづくりを中心に設計活動をおこなっている。安藤忠雄建築研究所に16年間入所し、西宮市内では甲山自然学習館の設計にも携わっており、多方面で活躍。「宮っ子のいえアドバイザー」として西宮市内でエコいえの出前講座にも対応。

### 古民家族(こみんかぞく)

武庫川女子大学生生活環境学部の学生有志が主催している古民家再生団体で、西宮市山口町船坂にて毎月1・2回活動している。解体寸前であった茅葺き古民家を、伝統工法に基づきボランティアで修復し、その過程で日本の伝統文化や建築様式について研究している。

## 旧船坂小学校について

明治6年に開校し平成22年3月末の閉校まで、137年の歴史を有する西宮市で最も古い小学校のひとつで、校舎の大部分が木造となっています。現在、地域の皆さんと市が協働して跡施設の活用について取り組んでいます。

## 皆さんの地域でも「エコいえ作り体験ワークショップ」をしませんか？

皆さんの地域でもエコいえ作り体験ワークショップを行いたい場合は、「宮っ子のいえアドバイザー派遣制度」を活用して開催することが可能です。  
「宮っ子のいえアドバイザー」がお手伝いに伺います。  
詳しくは市HP「宮っ子のいえアドバイザー派遣制度」をご覧ください！



今後もこのようなイベントを通じ、「エコいえ」について学ぶ場を提供していきたいと考えておりますので、引き続きすまいづくり推進業務へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。